

『夏の友』の手引き

『夏の友』を使って、夏休みの指導をしましょう



『夏の友』は、戦後、夏休みの計画的な生活や学習のガイドブックとして、現場教師の力によって、全国的に出版・編集されてきました。しかし、その多くは、時代の変遷の中で姿を消してしまいました。

そんな中で、岐阜県は多くの現場教師の力によって、毎年改善されながら、出版・編集が続けられています。『夏の友』ができて70年近く経っています。その時代を反映した内容が掲載されており、歴史的・文化的な価値もあります。今年度版も60名程の教師が執筆・編集にあたっています。

『夏の友』は、長い夏休み、子供たちが豊かな体験と感動のある生活をする中で、生きる力をつけるよう、生活や学習のガイドブックとして使ってもらえるよう編集しています。

そんな歴史を感じながら、じっくり手にとって見てください。そして、この『夏の友』を使って、夏休みの指導をしてください。

1 『夏の友』が届いたら、教師がまず目を通しましょう。



- ・どんな内容があるのか、じっくり目を通してください。
- ・計画づくり、事後指導ができる編集がされています。事前指導に活かしてください。

2 『夏の友』とのすてきな出会いを工夫しましょう。



- ・まず子供たちが目を通す時間を作ってください。
- ・祖父母も父母も『夏の友』を使っていたこと、『夏の友』の歴史を語ってください。
- ・『夏の友』は宿題ではなく、ガイドブックであることを話してください。

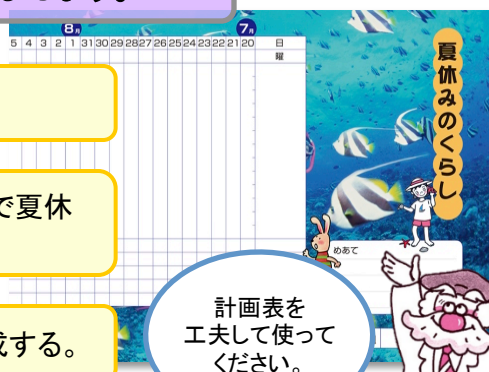
3 『夏の友』を使って、夏休みの計画を立てましょう。

① 「夏休みのくらし」を使って、計画を立てる。

② 『夏の友』の「続けてできる仕事をみつけよう」で夏休みの仕事(手伝い)の計画を立てる。

③ 事前指導のあと、家で相談して計画作りを完成する。

④ 学校で一人一人が立てた計画を確認する。



計画表を工夫して使ってください。





子供たちが楽しめる表紙作り

表紙は、図画工作の学習指導要領の内容から、学年の発達に合った内容にしてあります。子供たちが、自分で作ったり使ったりできる楽しい表紙になっています。

家族や友達と相談したり協力したりして表紙を作って、遊ぶことができるゲーム性も持っています。長い夏休みだからこそ、ただ作るだけでなく、家族や友達とのコミュニケーションを大事にさせてください。

- ・「表紙で遊ぼう」のページを見せて、作る楽しさを感じさせる。
- ・一人だけでなく、家族や友達と一緒に作る楽しさも教える。

夏休みの計画作りと振り返りが大切！

夏休みのめあてづくり、仕事(お手伝い)、運動など子供たちができる限り自分の力で、夏休みの計画を立てたり、振り返ったりできるような内容になっています。「おうちの方へ」で保護者へのアドバイスも伝えています。

付録の「夏休みのくらし」も工夫して活用してください。学校で作られる場合もありますが、「夏休みのくらし」は誰でも使いやすいように考えて作られています。

- ・夏休みの事前指導として活用する。
学校で事前指導→家族と相談して計画作り→学校で確認
- ・夏休み後の「宝物発表会」に活用する。



夏休みの読書生活の参考にしよう！

夏休みの読書生活の参考になるよう、いろいろなジャンルの図書(近年発行されたもの)の紹介、県内の図書館の紹介をしています。岐阜県の先生方が執筆された創作童話も楽しく読むことができます。

- ・夏休みはじっくり本が読めるとき。いろいろなジャンルの本が読めるよう指導に生かす。
- ・読書記録のため、「わたしが読んだ本」を活用する。



家庭や地域での豊かな体験の参考にしよう！

豊かな心を育むためには、家庭や地域社会において、豊かな体験を積み重ねていくことが大切です。そこで、「家族」「仲間」「地域行事」「平和」「環境・福祉」「国際理解」の観点から、県内各地で行われている行事や活動を紹介しています。子供たちの豊かな体験の参考にしてください。自分も行ってみたい、やってみたいと思えるように紹介してください。

- ・夏休みはいろいろな体験ができるとき。じっくり読ませて、体験の計画作りや意欲付けに活用する。



郷土岐阜県の自然・歴史を自分の目で確かめよう！

「ふるさとよみもの」は、子供たちが興味・関心をもって読むことができるように、学年の発達段階を考えた内容になっています。各学年2つの読み物があります。家族と一緒に読むことも勧めます。

「みのひださんぽ」は、県内にある自然・歴史・産業等に関する施設の紹介コーナーです。子供たちが夏休みに家族と一緒に見学したり、体験したりするのに役立つよう編集してあります。

- ・子供たちに興味をもたせるように、夏休みの指導の時に、内容にふれる。
- ・懇談会で、保護者へも紹介し、見学や体験を勧める。



子供たちの「宝物づくり」のもとにしよう！

「宝物づくりなんでも情報室」は、「いろいろな宝物」「宝物のつくり方（調べ方・まとめ方）」「友達の宝物紹介」の3つの内容があります。

「友達の宝物」は、前年度の夏休みの作品の中から参考になりそうな作品を掲載しています。

「宝物づくり」は、「体験する」「作る」「調べる」ことを大切にした内容構成になっています。計画を立てるときにぜひ活用してください。

- ・「いろいろな宝物」「友達の宝物」を、宝物作りの計画等に活用する。
- ・調べ方やまとめ方は「楽しく調べてまとめよう」を参考にさせる。

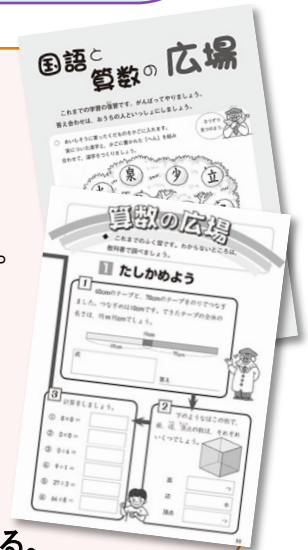


国語と算数 ここだけは理解させよう！

「国語と算数の広場」は、学習指導要領の趣旨に照らし合わせて、夏休みまでの学習内容の中で、「ここだけはどの子にも理解してほしい」という問題を掲載してあります。学習したことが定着しているか、確かめに使ってください。

『夏の友』の問題を増やしてほしいという要望もありますが、反復練習や発展的・補足的な学習については、学年や学級で、ドリルやプリント等を使って、個に応じた指導をしてください。

- ・まとめてやるのではなく、計画的に取り組みせる。
- ・必ず答え合わせをして、できたかどうか確認させる。
- ・まちがったら、繰り返して学習させる。
- ・答え合わせは、低学年は家族と、高学年は自分で行うように。
- ・できなかったところや分からなかったところは、教科書や辞典等で調べさせる。



裏表紙を読んでみよう！

裏表紙は、岐阜県の自然や文化等の文化財を紹介しています。動植物、滝や溪谷、建物、祭りや行事、街道などの文化財をわかりやすく説明しています。見学したり体験したりできるように地図もつけています。

- ・岐阜県にはどんな文化財(宝物)があるか興味をもたせる。



子供たちへの事前指導のポイント

- ①『夏の友』をもとに自ら進んで計画を立てることができるよう指導する。
- ②めあて、行事予定、健康づくり・学習・宝物づくり・仕事の内容を確認して、その子にあったものかどうか指導する。
- ③「夏休みのくらし」の表の計画作りができているかどうか確認し、毎日の表の使い方を指導する。
- ④「夏休み宝物コーナー」と「夏休み思い出アルバム」の書き方を指導する。

保護者への事前指導のポイント

夏休み前の学級懇談会（保護者会）や学年・学級通信で

- ①『夏の友』が宿題ではなく、夏休みのガイドブックであることを伝える。
- ②『夏の友』をじっくり見せよう。「おうちの方へ」にも目を通してもらう。
- ③『夏の友』を使った子供の計画作りに参加してもらう。
- ④『夏の友』を参考にして、子供たちにいろいろな体験をさせることの重要性を伝える。

※「保護者用の手引き」も活用してください。

子供たちへの事後指導のポイント

- ①『夏の友』『夏休みのくらし』を集めたら
 - ・夏休みの頑張りを認める内容を書く。
（一言でもよいので）
 - ・学習のできていなかった部分を確認し、指導の参考にする。
 - ・なるべく早く子供に返却する。

- ②夏休み宝物発表会を行う
 - ・「夏休み宝物コーナー」を発表に活用させる。
1つ目は… 2つ目は… 3つ目は…
 - ・『夏の友』の「表紙で遊ぼう」の交流をする。

- ③子供たちの宝物づくりのまとめ
 - ・宝物に教師からの一言（よいところみつけ）を書く。
 - ・夏休みの作品募集へ出品する。
 - ・「友達の宝物」へ出品する作品の写真を撮って、データを学校で集めて、出版事業委員会の郡市代表の校長先生に送る。

「夏休みの詩と作文コンクール」への応募を勧めてください。



夏休み たからもの コーナー

楽しかった こと、がんばった ことなどを
思い出して 書いて みよう。

思い出に のこって いる こと

一つ目は、 _____ ですよ。

二つ目は、 _____ ですよ。

三つ目は、 _____ ですよ。

ここに教師の評価を

〈編集委員会からのお願い〉

『夏の友』の活用事例がありましたら、貴郡市の出版事業委員の校長先生又は岐阜県校長会館までお知らせください。